

原位置浄化工法で 操業しながら

■エコサイクル社から最新事例

調査から施工もワンストップ

土壌調査・対策工事を手掛けるエコサイクル社(東京都中央区)が、都内にあるクリーニング工場跡地の浄化事例を最新情報で寄せてくれた。

全国で遊休地化する土地の中には土壌汚染などの問題を抱えているケースが多く、対策費用も高額になることから手つかずのまま月だけが経過する傾向なのが現状だ。

エコサイクル社は、そうした土地を不動産として活性化させる事業を推進する。色んな業界に携わる中、クリーニング業界においても工場跡地を不動産に転用する相談・



原位置浄化によるクリーニング工場跡地施工の様子(操業しながらの浄化も可能)

案件が増えていることから、低コストで操業しながらでも可能な原位置浄化の技術を活用したスキームに取り組んでいる。

土壌の調査・対策までワンストップというスムーズな点がポイントで、クリーニング業界でも工場を閉鎖する話がある中で「次のステージにつながるきっかけをサポートしたい」としている。

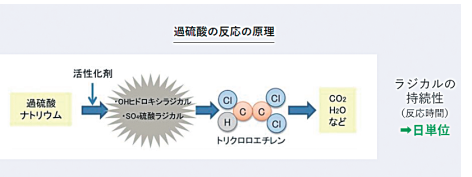
今回のクリーニング工場跡地の浄化に至った経緯は、大手不動産会社からの相談に始まった。仲介する不動産の中に

都内(西葛西)のクリーニング工場跡地で困っている案件があると寄せられた。事前に土壌調査を実施した調査会社から土壌汚染が存在する土地との報告があり、当初は土地所有者が金銭面で土壌浄化を実施することができず、手つかずだった。

そこでエコサイクル社は、当該地の土地活用に関する報告を踏まえ、掘削除去と比べてもコスト的にも難しい場所だった点から、原位置浄化であれば掘削除去と比較してコスト的にも安価で、深い対策深度までの浄化が可能だった点が一つ。また騒音、振動など近隣に対する負荷の少ない工事が

必要ない理由もあった。施工期間自体は2023年5月下旬から開始。近く浄化が完了する予定で、今後は当該地の区域指定解除(形質変更時要届出区域)を行うため、モニタリングを実施していくスケジュール。施工完了後は、戸建て住宅として使用することの話を、

「手つかず」から転クリーニング工場跡地の大きさは、敷地面積が約233㎡。このうち指定区画の対策面積は約176㎡だった。対策深度は11mと結構な深さ。対象物質はVOC(テトラクロエチレン及びその分解生成物)で、土壌、地下水ともに基準値の超過が見られた。当時、事業者側では対策費用の捻出が難しく、2年ほどブラウンフィールド化(再利用が進まない土地の状態)したまま



「COA-X」(過硫酸ナトリウムが主成分)の反応の原理

何も手を打てなかったが光明を見出した。工事に伴っては、エコサイクル社が得意な原位置浄化で対応できた。対策面積の範囲は狭いものの、隣地に住居などが存在しており、掘削除去では作業的にもコスト的にも難しい場所だった点から、原位置浄化であれば掘削除去と比較してコスト的にも安価で、深い対策深度までの浄化が可能だった点が一つ。また騒音、振動など近隣に対する負荷の少ない工事が

必要ない理由もあった。施工期間自体は2023年5月下旬から開始。近く浄化が完了する予定で、今後は当該地の区域指定解除(形質変更時要届出区域)を行うため、モニタリングを実施していくスケジュール。施工完了後は、戸建て住宅として使用することの話を、

工場建て替えや移転、土地売却時に悩みの種となる土壌問題。土壌汚染対策法から過去にパーク、エタンなどの溶剤を使用した工場は、特定施設廃止時や移転・売却時に土壌調査が義務付けられた。指定基準を上回る数値を検出した場

合は指定区域とされ、土地所有者は法に基づき対策が求められるが、費用面からブラウンフィールド化しやすいのが現実だ。浄化事業を国内外で展開するエコサイクル社は、クリーニング業界向けに個別相談を実施中。操業中の工場のリスク評価から、低コスト・低環境負荷で問題解決を図る合理的な対策ソリューション案などの提示も行う。調査から施工までワンストップなものも大きい。詳細な調査で汚染範囲を正確に把握し、適切な浄化対策による工期短縮、コスト削減を心掛ける。浄化実績は行政案件からクリーニング業跡地の案件も数百件を有する。昨年東京都から区域指定を受けた住宅地内のク

狭い、密集地でも対応。浄化には掘削除去、土壌ガス吸引など様々な技術を用いるが、中でも得意としているのが原位置浄化工法だ。これまで一般的に困難とみられてきた住宅密集地域でも施工を可能とし、工場を操業しながらでも短期間で浄化できる点がポイント。工期自体も大体が半年から1年の期間で完了。コスト面も掘削除去に比べて、1/3〜1/2程度でできるという。施工には近隣や環境に対する配慮も重視されるが、非常に狭い、住宅地と近接している、道路の高低差で重機が搬入困難、など

環境大臣賞 受賞

エコサイクル株式会社

詳しくはエコサイクルホームページまで

■本社・技術研究所
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目28番1号
日本橋・浜町ビル
TEL03-6661-1875 <https://www.ecocycle.co.jp>

私たちは土壌汚染対策のプロフェッショナルです

- ・ 汚染対策費用が捻出できるか不安…
- ・ パークを使っていたから汚染されているかも…
- ・ 工場移転したいけど汚染があったらどうしよう…
- ・ 土壌汚染対策後の土地活用も相談したい…

土壌汚染のお悩みを低コストで解決します

